

# 第 5 次古江地区地域福祉活動計画



平成 3 1 年 3 月  
古江地区社会福祉協議会

## ○はじめに

古江地区社会福祉協議会では、平成14年度から「福祉でまちづくり～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江」を福祉目標として、第1次から第4次に亘り「古江地区地域福祉活動計画」を策定して、地域福祉の推進に取り組んで参りましたが、第4次地域福祉活動計画は平成30年度で終わるため、このたび新たに「第5次古江地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

「第5次古江地区地域福祉活動計画」策定に当っては「第5次古江地区地域福祉活動計画策定委員会」を立ち上げ、そのもとに五つの作業部会（企画調整・高齢者福祉・生活・障がい者福祉・子育て支援）を設置しそれぞれ中核となって作業を進めてまいりました。

各作業部会では、まず「第4次古江地区地域福祉活動計画」についてこれまでの実践活動を振り返り、活動の評価と活動を通して把握した課題、懸案等を整理しました。

「第5次古江地区地域福祉活動計画」策定にあたっては、アンケート調査やヒアリングを実施するなど広く地域住民から、その後の地域を取り巻く情勢変化や要望等を汲み取りながら、引き続き実施していく活動改善が必要と思われる活動、課題となる活動等を中心に具体的な協議を重ねて参りました。

これらの結果を、「第5次古江地区地域福祉活動計画策定委員会」に提案して審議し、ここに「第5次古江地区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

今後5年間、この福祉活動計画に基づいて事業を展開していくこととなりますので、計画実現に向けて地域の皆様の更なるご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

終わりに、この福祉活動計画策定にあたり、昼夜に亘って幾度となくご審議ご検討いただきました各部会の皆様、また、その都度ご参画いただき適切にご指導ご助言を賜りました松江市社会福祉協議会の加茂絵菜主事様に対し、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

## ○第5次古江地区地域福祉活動計画の概要

### 第1 福祉目標の設定

福祉目標は、引き続き「福祉でまちづくり～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～」とした。

少子高齢化、核家族化が進行し、地域の連帯感が弱体化・希薄化する中において、向こう三軒両隣のふれあい、ささえあい、たすけあいを福祉の原点として、その輪を広げ、人と人とのつながりを育てることで、地域の住民誰もが安全で安心に暮らせ、幸せになれるまちづくりを目指したい。

## 第2 重点活動

### 1 企画調整部会（社協全体）に関する事項

- 交流事業の促進
- 健康づくり活動の推進
- 災害時における助け合い
- 見守り・生活支援活動の拡充
- 広報活動の強化・福祉情報の提供
- 古江地区社協の諸活動の活性化

### 2 高齢者福祉部会に関する事項

- ふれあい敬老会
- 地域のつながりづくり
- 高齢者の健康・生きがい対策
- 古江地区要援護者への見守り・支援
- 給食サービス

### 3 生活部会に関する事項

- 「ふれあいの場」の開設
- 生活に役立つ情報の発信
- 健康ウォーキングの実施
- 「ボランティアお助け隊」（仮称）の立ち上げ

### 4 障がい者福祉部会に関する事項

- 体験活動の実施
- サポーター研修
- サポーターの人材確保・災害時の対応についての学習会
- 啓発活動
- 本人参加・諸団体との連携

### 5 子育て支援部会に関する事項

- 交流（ふれあい・体験）事業の推進
- 子育て支援活動の促進（保護者へのサポート）
- 子どもの遊び場、居場所の活用
- 情報の提供と発信
- 学校・諸組織・団体との連携

第3 第5次古江地区地域福祉活動計画の内容  
実施計画の内容は、別添のとおりである。

第4 第5次古江地区地域福祉活動計画の推進組織体制と計画の進行管理

1 計画を推進する組織体制

古江地区社会福祉協議会が、関係機関団体と連携し、推進の中核組織となる。  
また、策定委員会で設置した各部会を計画具体化の母体組織として位置づけ、諸活動を推進する。

2 計画の進行管理

毎年度、定期的に各部会による計画の実施点検と必要な見直しを行い、福祉目標である「福祉でまちづくり～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江」の実現に努める。

●第5次地域福祉活動計画 実施計画表(企画調整 部会)

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	具体的取組内容
ふれあう・ 交流する	・交流事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障がい者・子どもや地域住民の交流の場づくり。</li> <li>・地域行事への参加促進</li> </ul>
知る・学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の健康づくり活動の推進</li> <li>・災害時における地域での助け合い対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康まつえ21推進隊を中心に事業を促進</li> <li>・検診の促進と受診率のアップ</li> <li>・家族健康講座の開催</li> <li>・各種団体・組織との連携強化</li> <li>・支援が必要な人の実態把握</li> <li>・各種団体・組織との協働による防災訓練の実施</li> <li>・災害・防災についての研修会の開催</li> </ul>
見守り・ 支え合い	・見守り・生活支援活動の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者支援体制の整備(名簿)</li> <li>・支援会員による見守り・声掛け活動の強化</li> <li>・買い物支援活動の開発</li> <li>・「新聞配達員による見守り活動に関する協定書」締結</li> <li>・給食サービスの充実</li> </ul>
伝える・ 広める	・広報活動の強化と福祉情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館・社協・民生児童委員・福祉推進員等諸活動の周知</li> <li>・イベントや行事への積極的参加を促し福祉活動の啓発を図る。</li> </ul>
組織の 充実	・古江社協の諸活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部に亘る事業の調整と実践し易い環境づくり。</li> <li>・ボランティア参加者の募集と育成</li> </ul>

●第5次地域福祉活動計画 実施計画表  
(高齢者福祉部会)

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	具体的取組内容
ふれあう・ 交流する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい敬老会</li> <li>・地域のつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*町内会・自治会ごとに開催</li> <li>*あり方の検討</li> <li>*ミニデイサービス事業 (未実施地区の解消・実施回数の充実)</li> <li>*なごやか寄り合い事業 (広報活動に努め立ち上げ地区を増やす)</li> </ul>
知る・学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康・生きがい対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*健康活動(健康講座・スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会)</li> <li>*防犯・交通安全活動</li> <li>*交流・ボランティア活動</li> </ul>
見守り・ 支え合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古江地区要援護者への見守り支援</li> <li>・給食サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*制度のしくみの周知</li> <li>*防災事業との連携について検討が必要</li> <li>*要援護者情報の定期的更新の徹底</li> <li>*毎月1回(第3水曜日)の活動の継続</li> <li>*調理・配達ボランティアの補充と食品衛生に関する研修の充実</li> <li>*食材の高騰等による値上げの検討</li> </ul>
伝える・ 広める		
組織の 充実		

●第5次地域福祉活動計画 実施計画表(生活部会)

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	具体的取組内容
ふれあう・ 交流する	・「ふれあいの場」の開設	・規模、名称は問わないが、だれでも、いつでも、気軽に集まれる場づくり
知る・学ぶ	・生活に役立つ情報の発信  ・健康ウォーキングの実施	・「公民館だより」等を活用しての情報の発信  ・「生活部会だより」(仮称)の発行  ・「健康まつえ21推進隊」との協働実施
見守り・ 支え合い	・「ボランティアお助け隊」(仮称)の立上げ	・先進地の視察  ・立上げに向けた研修会の実施  ・「隊員」の発掘と登録(組織づくり)
伝える・ 広める		
組織の 充実		

●第5次地域福祉活動計画 実施計画表(障がい者福祉部会)

グループ	活動名	具体的取組内容
ふれあう・交流する	体験活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の障がいのある幼児、児童、生徒（幼小中、特別支援学校）の体験活動を通じた交流・・・ちまき作り、しめ縄作り</li> <li>・障がいのある方とその家族、サポーターとの交流・・・クリニカルアート、社会見学</li> <li>・障がいのある方が生き生きと活躍できる場作り・・・あったか座</li> </ul>
知る・学ぶ	サポーター研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある幼児、児童、生徒の現状について知る・・・学校との情報交換（学校訪問、実行委員会）</li> <li>・障がいの理解・・・手話学習会、特別支援学校や施設の見学と研修会</li> <li>・サポーターの資質向上・・・体験研修（クリニカルアート等）、各種研修の機会の活用（暮らし安心サポートセミナー等）</li> </ul>
見守り・支え合い	サポーターの人材確保 災害時の対応についての学習会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの新規登録者の募集・・・公民館だよりによる募集等</li> <li>・災害時の対応・・・本人、家族からの対応要望の把握、福祉避難所の確認、地域の防災組織との連携など</li> </ul>
伝える・広める	啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR活動・・・公民館だより 文化祭での活動紹介（掲示）、あったかスクラムだよりの発行（年2回）</li> <li>・保護者、家族同士のつながりを作るための交流会・・・おにぎり交流会、あったかカフェ</li> </ul>
組織の充実	本人参加 諸団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古江あったかスクラム実行委員会の実施・・・当事者、家族代表、地区社協、自治会、各学校、福祉施設、親の会、市社協、公民館等</li> <li>・活動への協力依頼・・・社会福祉協議会、民生児童委員、高齢者クラブ、地区福祉推進委員会等</li> </ul>



●第5次地域福祉活動計画 実施計画表  
 ( 子育て支援部会 )

スローガン(福祉目標)  
 福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	具体的取組内容
ふれあう・交流する	・交流(ふれあい・体験)事業の推進	・子ども・学校・家庭・地域住民との相互の交流 ・人と人をつなぐ世代間のふれあい交流 ・公民館活動と社会福祉協議会子育て支援部との共催
知る・学ぶ	・子育て支援活動の促進(保護者へのサポート)	・絵本カードの贈呈 ・子育て講演会の開催 ・子育て研修会への積極的参加
見守り・支え合い	・子どものあそび場・居場所の活用	・子ども広場・児童クラブ・あったかスクラム・きしゃぽっぽ教室・わいわいサロン等、年齢に応じた居場所の紹介 ・子どもの居場所が保護者の交流の場として促進
伝える・広める	・情報の提供と発信	・公民館だより・公民館報等に子育て支援関連記事を掲載
組織の充実	・学校・諸組織・団体との連携	・子育て支援にかかわる情報共有・連携の充実

●第4次地域福祉活動計画 実施計画表(企画調整部会)

ふりかえりシート

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	事業効果	活動目標	具体的取組内容	ふりかえり内容	実施・協力団体	財源
ふれあう・交流する							
知る・学ぶ	健康づくりの環境整備	1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	受診率と健康寿命アップを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康まつえ21推進隊との協働</li> <li>家族健康講座(教室・体操)の開催</li> <li>検診の対象者と種類に応じた受診の呼びかけ(検診の促進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康まつえ21推進隊との協働で各種事業を実施 具体的には、宣伝カーによる検診広報の実施・健康ウォーキング文化祭でのブースの開設</li> <li>子どもとのペアグラウンドゴルフ大会の開催</li> <li>古江健康まつり(プチがんドック他)の開催・救急法講習の開催</li> <li>社協主催家族健康講座の開催</li> </ul>	地区社協、公民館、市社協、保健センター	地区社協
	予想される災害についての対策	1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める ⑤ 組織の充実	地域住民個々が平素から災害の危険性を熟知し、有事における情報伝達、救助活動、避難行動がスムーズに行えるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時・緊急時における各種団体・組織との協力体制づくり</li> <li>生活環境(災害時に支援が必要な人)の把握</li> <li>自主防災隊等との協働による防災訓練の実施</li> <li>地区内の福祉施設・企業・医療機関との連携体制の確立</li> <li>災害・防災についての研修会(勉強会)の開催</li> <li>防災機器財の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会、自治会等既存の自主防災隊との協力体制を図っている。自治会によっては昼間の有事に備え寿会による自主防災隊を立ち上げているところもある。</li> <li>民生児童委員・福祉推進員を中心に平素の見守り活動に併せ要支援者の把握に努めている。</li> <li>町内会・自治会等と協働により防災訓練、研修会等が実施されている。</li> <li>福祉施設等との連携体制は今一つ進んでない。</li> <li>防災機器について点検されているものの補完整備については各町内会・自治会毎にばらつき有り。</li> <li>防災対策は今後とも継続実施の必要がある。</li> </ul>	地区社協、町内会自治会、公民館、市社協、関係団体	地区社協
見守り・支え合い	見守り・生活支援活動の充実強化	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める ⑤ 組織の充実	見守り、生活支援活動の向上につなげる	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物支援活動の開発</li> <li>郵便局、新聞、ガス、電気事業者との見守りネットワークの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生児童委員を中心に町内会・自治会等と協働で実態把握に努めているが、計画にある具体的な取り組み事項について実践できなかったのが、引き続き今後の課題として取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	地区社協、公民館、市社協、関係団体	地区社協
伝える・広める	相談・情報提供・広報体制の充実強化	1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	住民のニーズの把握と諸活動を周知することにより、住民とともにある活動に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館・社協活動の周知</li> <li>民生児童委員・福祉推進員活動の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冊子(こちら古江社会福祉協議会です。)チラシ(第4次福祉活動計画)や福祉推進員が「福祉推進員だより」を作成し、周知に努めた。</li> <li>文化祭でブースを開設しPR</li> <li>「こんにちは民生児童委員です。」のカードやチラシの訪問配布</li> <li>町内会、自治会、各種団体の会合に出席し、活動の周知に努めた。</li> <li>以上の活動は今後とも継続実施の必要がある。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、公民館、市社協	地区社協、公民館
組織の充実	古江社協組織の基盤整備	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い 4. 伝える・広める ⑤ 組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織を充実強化し、諸活動の活性化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の再編と理事会の活性化(組織検討委員会の設置)</li> <li>企画調整部定例会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画調整部会を以って検討委員会とし、理事会の構成員を整理、再編する等理事会の充実強化を図った。併せて「古江地区社会福祉協議会会則」を改正した。</li> <li>定例会としては開催しなかったが必要に応じて部会長が招集し、随時開催した。</li> </ul>	地区社協、公民館、市社協	地区社協
	古江社協の財源基盤の確立	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協会との連携</li> <li>篤志寄付金の活用</li> <li>助成制度の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>篤志寄付金の減により予算的に厳しい現状である。</li> <li>給食サービスの値上げの検討(200円⇒300円)</li> </ul>	地区社協、町内会自治会、公民館、市社協	地元費 市社協(市費)

○第4次地域福祉活動計画 実施計画表（高齢者福祉部会） ふりかえり用シート

スローガン（福祉目標）  
福祉でまちづくり ～ふれあい・ささえあい・たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	事業効果	活動目標	具体的取組内容	ふりかえり内容	実施協力団体	財源
ふれあう・交流する	ふれあい敬老会	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5、組織の充実	高齢者が地域の人たちから敬われることによって、生き活きと生活できるようにする。	・町内会、自治会ごとに開催  ・あり方検討	成果 ・ほとんどの町内会・自治会が敬老会を開催して喜ばれている。 ・招待者は補助金対象となる75歳以上にする地区が増えつつあるが、対象年齢を下げるなど配慮する地区もある。 課題 ・高齢化に伴う招待者の増加と補助金の減額で、各町内会の経済的負担が増えている。 ・招待者の送迎方法等に課題がある。 ・高齢者の増加で補助金を助成する地区社協の財源不足が心配される。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会・自治会、公民館、市、包括支援センター	地区社協
	地域のつながりづくり	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5、組織の充実	高齢者が地域の人たちと交流することによって、より強い絆を構築する。	・ミニデイサービス  ・なごやか寄り合い事業	成果 ・各町内会・自治会ごとに民生児童委員・福祉推進員が中心となり実施されている。 ・活動はいろいろ工夫されており、皆が参加することによってつながりが出来、日頃会話の少ない独居高齢者にも喜ばれている。 課題 ・各町内会・自治会ごとに行うミニデイサービスについて、未実施地区もあるほか、実施回数にもバラつきがある。 ・参加者の送迎方法に課題がある。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会・自治会、公民館	地区社協 市社協 補助金
知る・学ぶ	高齢者の健康・生きがい対策	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5、組織の充実	交流・学習の場を提供することによって、高齢者がいつまでも健康を保てるようにする。	・高齢者向けの健康講座の開催 ・高齢者向け防犯・交通安全教室の開催 ・健康活動、交流の場づくり ・高齢者、生徒児童との交流活動場づくり ・元気高齢者のボランティア活動への参加よびかけ	成果 ・公民館が行う健康講座へ寿会員など高齢者が多く参加している。 ・敬老会やなごやか寄り合い・ミニデイサービスを利用して、健康・防犯・交通安全などに対する意識は高くなっている。 ・寿会を中心に夏休みラジオ体操の実践、学校・幼稚園での昔の遊び、夏休み子ども公民館などでの活動のほか多くの高齢者がいろいろな交流活動に参加している。 ・ボランティア活動として学校や幼稚園の畑・花壇の手入れ、授業支援、通学時見守り、自転車道草刈りや町内公民館の掃除その他へ多くの高齢者が参加をしている。 課題 ・悪質な訪問販売・電話勧誘や詐欺対応・鍵かけなどの防犯、災害時の避難経路の確認や避難場所の周知と非常持ち出し、さらには夕方から夜間には早めの反射材着用の交通安全について、常日頃から声かけが必要である。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会・自治会、公民館、市、包括支援センター、寿会	地区社協
見守り・支え合い	古江地区要援護者への見守り・支援充実強化	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5、組織の充実	地域の人たちが、高齢者を支えることで、地域づくりにつながる。	・制度の管理、定期的な見直し ・定期的な安心訪問活動の実施 ・要援護者の生活環境の把握と支え合い態勢づくり ・制度としくみの周知 ・要援護者、支援者等関係者の勉強会の開催	成果 ・制度の立ち上げから10年、各自治会・民生委員・福祉推進員が連携して要援護者と支援者の登録を進めてきた。この制度を利用し見守り声かけなどの安否確認をしている。 ・地区社協は自治会へ向け年1回の見直しを依頼し、登録内容に変更ある時は届け出てもらっている。 ・要援護者は給食サービスの利用が出来るため安否確認につなげている。 ・防災非難訓練の時には支援員が要援護者へ声をかけ一緒に避難経路の確認などを行っている。 課題 ・この制度を実施していない自治会がある。また登録の更新が出来ていない町内会・自治会もある。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会・自治会、公民館、市、包括支援センター	地区社協 市社協 補助金
	給食サービス	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5、組織の充実	定期的な配食によって、高齢者が地域で安心して暮らせるようにする。	・毎月1回（第3水曜日）に実施 ・調理ボランティアの増強、養成	成果 ・見守りを兼ねて始まったこの事業も平成30年7月で300回となり開始以来25年を通過、現在調理ボランティア25名、配食ボランティア9名、事務局1名で毎月第3水曜日に活動している（利用者アンケートによると）好評である。 ・利用者は弁当と、届ける配食ボランティアとの会話も楽しみにされており、安否確認も出来ている。 ・弁当に添えられる手紙にはメニューと季節の話題が載る。昨年は古江小児童の手紙が添えられた月もあり喜ばれた。また湖北中からは生徒が配食の手伝いに来た時もあるなど多くの人々の係わりの中で成り立っている大切な活動である。 ・昨年度松江保健所より衛生面での講習を、今年度9月調理士より調理実習と衛生面の指導を受けた。 課題 ・食材の高騰により、地区社協の負担が増えている状況が続いている。 ・調理作業に対し、器具や道具の扱い方、食材の扱いと洗い方などと厨房での衛生面のルールは、この活動を良好な形で継続していくうえで大切であるため、常に課題として引き継ぎたい。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会・自治会、公民館、市社協	地区社協 市社協 補助金
伝える・広める							
組織の充実							

●第4次地域福祉活動計画 実施計画表(生活部会)

ふりかえり用シート

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	事業効果	活動目標	具体的取組内容	ふりかえり内容	実施・協力団体	財源
ふれあう・交流する	「ふれあい・サロン」の開設	④ ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い 4. 伝える・広める 5. 組織の充実	地域毎にサロンを開設し、誰でも気軽にいつでも参加できる場を提供し、きずなを深める。	・地域ごとに、開設可能施設について調査、開設	・それぞれ地区には集会所があり、その施設の利用方法等の話し合いをした。 ・開設されたサロンは「なごやか寄り合い」として「西谷上組地区」、「成相寺地区」、「峯垣地区」、「荘地区」、「下古志地区」の5ヵ所であった。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、市、包括支援センター	地区社協
知る・学ぶ	生活に役立つ情報の共有	1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	タイムリーな情報の提供	・情報連絡会議の実施	・情報連絡会議の立ち上げはできなかったが、「公民館だより」、「駐在所だより」等によりタイムリーな情報を提供した。 ・まちづくり福祉会議を7～8地区で実施した。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、市、包括支援センター、駐在所、パトロールママ、交安協、地域安全推進員、青少年協、子ども会	地区社協
		1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	ふるさと感を皆で醸成する。	・地区の歴史・伝統行事・文化・旧跡などを知る勉強会の開催	・「ウォーキング」を「健康まつえ21推進隊」と連携し、地区の歴史等を学び、情報の共有をはかった。 ・「健康まつえ21推進隊」を主体として、「子ども」と「高齢者」のグラウンドゴルフ大会を開催された。 ・小学校では「ふるさと学習」として地域のことが学習されている。 ・小学校では「ふるさと探訪」として、新任の教師が地元の人のお話を聞き、学習されている。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、市、包括支援センター、駐在所、パトロールママ、交安協、地域安全推進員、青少年協、子ども会、寿会	地区社協、公民館
見守り・支え合い	生活安全対策	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い 4. 伝える・広める ⑤ 組織の充実	事件・事故のない住みやすい古江を作る	・ボランティア活動団体(者)間の連絡協議会の立ち上げ、交流会の開催 ・ボランティアによる登下校時の見守り活動の充実強化 ・通学路の危険箇所の点検、マップ作成	・連絡協議会の立ち上げはできなかった。 ・小学校の登下校時の見守り活動を各地区で行なっている。 ・通学路の危険箇所の点検を朝日ヶ丘地区で行なった。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、市、包括支援センター、駐在所、パトロールママ、交安協、地域安全推進員、青少年協、子ども会、諸学校	地区社協
	生活支援者人材バンクの立ち上げと活動の展開	1. ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	小さな事でも互いに助け合う、おつきあい作り	・生活支援者人材の発掘と登録(組織づくり) ・制度・しくみの周知と利用促進	・組織づくりはできなかったが、近隣の除雪等の支援を行なった事例があった。 ・他地区の状況等を把握したが、制度・しくみの周知まではできなかった。	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、市、包括支援センター、寿会	地区社協、公民館
伝える・広める							
組織の充実							

●第4次地域福祉活動計画 実施計画表(障がい者福祉部会)

ふりかえり用シート

スローガン(福祉目標)  
福祉でまちづくり ～ふれあい、ささえあい、たすけあいのまち古江～

グループ	活動名	事業効果	活動目標	具体的取組内容	ふりかえり内容	実施・協力団体	財源
ふれあう・交流する	ふるさとあったかスクラム事業 (幼児・児童・生徒、その保護者を対象)	① ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い 4. 伝える・広める 5. 組織の充実	障がいをもつ子どもたちが豊かな体験活動を通して地域の人たちとふれあいながら生き生きと成長していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者と個々の障がいの把握</li> <li>対象者、保護者のニーズの把握</li> <li>体験活動の実施</li> <li>交流会の実施(情報の共有)</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小、中、特の学校を通して対象者の把握ができた。</li> <li>年間を通して、文化的社会的体験を実施し、児童生徒の主体的な活動の場となった。</li> <li>活動を通して小、中、特の児童生徒の交流ができた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規対象者の把握が十分にできていない。</li> <li>対象者、保護者からのニーズ把握が十分にできていない。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、保健師、包括支援センター、諸学校、福祉施設	地区社協
	ふるえ根っこをつどい事業 (成人を対象)	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い 4. 伝える・広める 5. 組織の充実	障がいをもつ大人が豊かな体験活動を通して地域の人たちと交わり地域に住む喜びと安心感をもって暮らしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>手話ボランティアの育成、登録制度</li> <li>対象者の把握と個々の障がいの把握</li> <li>対象者、保護者のニーズの把握</li> <li>体験活動の実施</li> <li>交流会の実施</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の把握、体験活動の実施により、交流を深めた。</li> <li>参加者の減少、事業内容の検討を行った結果、H29～あったかスクラム事業と根っこをつどい事業を合わせて実施することにした。参加者の人数の確保につながった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手話ボランティアを含め様々な障がいに対応できるボランティアの育成が必要。</li> <li>対象者の把握やニーズの把握は十分でなかった。</li> <li>当事者が主体となって活動できるための、計画段階からの参加等検討していく必要がある。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、保健師、包括支援センター、諸学校、福祉施設	地区社協
知る・学ぶ							
見守り・支え合い	サポーターの充実強化	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い 4. 伝える・広める 5. 組織の充実	体験活動や研修を通してサポーターを養成し地域で支えあう人材を育て広める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポーターの人材確保と人材養成</li> <li>行事に関する住民の協力度体制づくり</li> <li>障がいへの理解を深める学習活動の推進</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館だよりによるサポーター募集やサポーター研修の実施を行った。熱心な参加が得られた。</li> <li>活動には社会福祉協議会、民生委員等の協力度体制ができていて、活動の充実につながった。</li> <li>手話学習会や特別支援学校の見学を実施し、障がい理解や支援について研修した。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーターの固定化や高齢化への対応</li> <li>本事業でのサポーター養成には限界があるので、他のサポーター養成事業などの活用を検討する必要がある。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、保健師、包括支援センター、諸学校、福祉施設	地区社協
伝える・広める	関係者間の連携、信頼関係の醸成	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い 4. 伝える・広める 5. 組織の充実	地域の人たちと障がいをもつ人たちが、保幼小中特別支援学校や諸団体の人たちとの交流を通して理解を深め信頼関係をはぐくむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者定例会の開催</li> <li>保・幼・小・中・特別支援学校等との交流、意見交換の場づくり</li> <li>障がい児・者の社会参加の促進</li> <li>事業内容等積極的な情報提供</li> <li>ボランティア活動団体・諸団体の連携</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の実行委員会で各学校のニーズ把握や意見交換ができ、活動に反映することができた。</li> <li>地元の小中学校の特別支援学級、盲、ろう学校間の交流ができ親睦を深める機会となった。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスの充実に伴い、日中家庭で過ごす対象者が減り、参加者の減少につながっていると思われる。再度、対象者のニーズ把握を行うなど、ニーズを反映した活動の検討が必要。</li> <li>災害時の対応については十分な検討が出来ていない。対象者、保護者の対応要望の把握や福祉避難所の確認、地域の防災組織との連携や情報提供の方法など検討が必要。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、保健師、包括支援センター、諸学校、福祉施設	地区社協
組織の充実	諸団体等の連絡協議会の立ち上げ	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	地域の人たちが障がいへの理解を深め、障がい児・者と交流しながら見守り支えあつて暮らす地域をめざして諸団体の連携を図っていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸団体との意見交換の場づくり</li> <li>諸団体と障がい児・者の交流</li> <li>連絡協議会の立ち上げ、開催</li> </ul>	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉協議会、児童民生委員、老人クラブ、地区福祉推進員等と連携し、活動への協力を得ることができた。</li> </ul> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の参加が減少し、保護者同士の交流がほとんど持てなかった。保護者のニーズ把握とともに保護者同士の交流について検討する必要がある。</li> <li>あったかスクラム事業についての周知が十分にできていない。年度初めの諸団体への挨拶回りやチラシの配布など理解促進のための工夫が必要。</li> </ul>	地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、公民館、保健師、包括支援センター、諸学校、福祉施設	地区社協

グループ	活動名	事業効果	活動目標	具体的取組内容	ふりかえり内容	実施・協力団体	財源
ふれあう・交流する	交流(ふれあい・体験)事業の推進	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	ふれあう・交流することによって郷土への愛着心をはぐくむ	・子ども・家庭・学校・地域住民との相互交流 ・人と人をつなぐ世代間ふれあい交流 ・地域の行事・文化行事の発掘と行事への参加 ・福祉活動と社会教育の地域づくり	<成果> ・夏休み子ども公民館体験活動・地域活動を通して、対象者や活動内容が把握でき、交流ができた。 ・地区子供会や湖北白鳥学園等諸団体との共催福祉活動として、清掃活動(駅舎等)を実施し、ふるさとを大切に思う心の育成を図っている。  <課題> ・地域の郷土芸術文化・各地区の伝統行事・子どもに関する活動の実態は把握できていない。子どもに関わる地域の行事等や実施状況を把握するため、各町内会・自治会へのアンケートを実施し、実態把握と情報の共有化を図りたい。	諸学校、湖北白鳥学園子ども会、児童クラブ、幼稚園、保育所、地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、寿会、母子保健推進員、保健師、公民館	地区社協
知る・学ぶ	子育て支援活動の促進(保護者へのサポート)	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	学ぶことによってコミュニケーションを深め、心身ともに健全な子どもの育成をはかる	・子どもに関わる活動への支援 ・子育てに関する研修会・講演会の開催 ・相談会・座談会の開催(ニーズの掘り起こし) ・読み聞かせの普及 ・絵本カードの贈呈(出産祝いとして一歳未満の子どもを対象、出産祝い事業PR)	<成果> ・子育てに関する研修会や講演会を、湖北中グループ「子どもの健全育成研修会」として、青少年を健やかに育てる会主催で実施し、保護者や地域住民の学びの機会を作り、子育て支援活動の促進を図っている。 ・出産祝いとしての絵本カードの贈呈を継続して実施している。きしゃぼっぼ教室の周知と参加につながっている。  <課題> ・絵本カード贈呈対象者の把握については、PR方法を検討し、さらに充実させたい。	諸学校、子ども会、児童クラブ、幼稚園、保育所、地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、寿会、母子保健推進員、保健師、公民館	地区社協、公民館
見守り・支え合い	子どもの遊び場、居場所の確保	① ふれあう・交流する ② 知る・学ぶ ③ 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	見守りながら地域の子どもの実態を知ることにより、安全で安心な遊び場、居場所作りの改善に寄与する	・きしゃぼっぼ教室の実施 ・子ども広場、児童クラブ、あったかスクラム事業等 子どもの活動現場の参観  ・子どもの遊び場、居場所、公園等子どもたちの置かれている環境の実態把握	<成果> ・きしゃぼっぼ教室やわいわいサロンの実施は、保護者同士が情報交流し、身近になり、子育て支援活動の充実につながっている。  <課題> ・子ども広場・児童クラブ・あったかスクラム事業等への参観は実施できていない。 ・子どもの遊び場、居場所、公園等子どもたちの置かれている環境の実態把握をしたい。	諸学校、子ども会、児童クラブ、幼稚園、保育所、地区社協、町内会自治会、母子保健推進員、保健師、公民館	地区社協
伝える・広める	たよりの発行	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い ④ 伝える・広める 5. 組織の充実	広く地域住民に対して子育て支援活動への関心と理解をはかる	・子ども、子育てに関する情報誌の発行	<成果> ・公民館便りや公民館報等に子育て支援関連事業を紹介し、情報発信と情報提供をし、地域住民への子育て支援事業への関心と理解を図るよう努めている。	地区社協、町内会自治会、公民館	地区社協、公民館
組織の充実	学校・諸組織団体連携体制の構築	1. ふれあう・交流する 2. 知る・学ぶ 3. 見守り・支え合い 4. 伝える・広める ⑤ 組織の充実	諸組織・団体の情報の共有し連携の充実をはかる	・保・幼・小・中学校、盲・ろう学校連絡協議会の立ち上げ ・子どもに関する諸組織・団体の連絡協議会の立ち上げ	<成果> ・子育て支援にかかわる様々な行事の実施の中で、諸組織・団体の情報共有と連携の充実を図っている。  <課題> ・学校連絡協議会の立ち上げは、運営母体が違うことなど難しく、実施できていない。	諸学校、子ども会、児童クラブ、幼稚園、保育所、地区社協、地区民児協、地区福祉推進員、町内会自治会、寿会、母子保健推進員、保健師、公民館	地区社協